



碧南ロータリークラブ週報

第2470回例会 平成21年9月8日(火)

● 会長 鈴木 並生 ● 幹事 棚田 道和 ● 会場監督 (SAA) 新美 真司

■ 例会日 毎週水曜日 12:30

■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内

〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: info@hekinan-rc.jp

■ 会報委員 岡本明弘・新美雅浩・大澤明敬・西脇博正



2009-2010年度
国際ロータリーのテーマ
THE FUTURE OF ROTARY
IS IN YOUR HANDS

● 斉 唱

国歌「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

● 本日のメニュー

和風弁当 衣浦グランドホテル

● 本日のお客様

第2760地区ガバナー 大澤輝秀氏、 地区幹事 岩瀬淳一郎氏

刈谷RC 坂 茂君、鈴木 豊君、三浦 恭嗣君、伊藤 節夫君、水野 宏幸君、
高橋 徹治君、伊藤 禎康君、磯村 達男君

安城RC 小野内宣行君、加藤 正人君、富岡 里美君、沓名 俊裕君、小林 逸朗君、
岡田 良三君、内藤 教恵君、大参 直子君、大見 宏君、浦田 士郎君、
鳥居 博行君、杉浦 實君、永谷 文人君、廣村 尚文君

高浜RC 神谷 義昌君、野々山貴文君、佐藤 啓君

知立RC 上野 実君、清水 健次君

西尾KIRARARC 廣中 利臣君、石川 逸大君、川上万一郎君、辻村 義之君、宮地 喜良君、
石山 進君、三治 信芳君、新海 雄二君、高原 宏君、大高 敏睦君、
杉田 芳男君、鈴木 昭夫君、高須 光君、辻村 和美君

三河安城RC 稲垣 靖君、沓名由美子君

会長挨拶



奥野暁 高浜RC会長



大澤ガバナー・岩瀬地区幹事

米山寄付金累計4000万円達成感謝状授与

第2760地区ガバナー大澤輝秀氏より
碧南RC鈴木並生 会長へ授与



委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数77名(内出席免除者15名の内出席者11名)出席者61名

出席対象者 61/72名 出席率 84.72%

欠席者16名(病欠者1名) 前々回修正出席率 98.61%

〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

第2760地区ガバナー 大澤輝秀氏、地区幹事 岩瀬淳一郎氏よりたくさん頂きました。

卓 話

RI第2760地区ガバナー公式訪問

大澤輝秀 氏

みなさんこんにちは。2009-2010年度の第2760地区ガバナーの大澤輝秀です。出身はお稲荷さんで有名な豊川市の豊川ロータリークラブです。どうぞ宜しくお願い致します。今日はこうやってみなさんとお会いし、ガバナーという立場から自分の年度でどういう風にメッセージを発信していくのか、自分の意思を明確にするために、私は2年前のガバナーノミニーの時代からノーネクタイを



第2760地区ガバナー大澤輝秀氏
実施してきました。私はロータリーの中にノーネクタイというスタイルを是非、定着させたいと思っております。これにはいろんな背景がありますが、ロータリーは何か選ばれた特別な人たちの集まりだという意識が会員の一部の皆さんにあります。それはそれで良いことなのですが、そのために服装まで制限が入ってくるのは私はいかかなものかと思っているわけです。わたくしは若い頃にロータリアンになり、その頃は工場の仕事をしていましたので、朝、出社するときは作業衣なんです。その後、12時30分の例会に間に合うためにいちいち自宅に戻り背広に着替えて出席するのはその頃からとても堅苦しく思っていました。豊川のクラブで会長をしていた10年ほど前にも若いメンバーがノーネクタイで例会に出席していると70歳を超える長老メンバーから、「なんだお前その格好は！ネクタイくらい締めてこいよ！」と言われていましたが、言われた若者は大変、戸惑っていました。私はガバナーになるにあたり、佐藤千寿さんの本をあらためて読んでみましたが、「ロータリーによくこそ」という所の18ページにロータリーの迷信が書かれています。その第1番目は「ロータリーの例会はネクタイを締めて参加しなければならない」となっています。ちなみに第5番目は「ロータリーの例会は洋食を食べなければならない」です。仕事着で気軽にそのまま例会に参加するためにも是非、ノーネクタイを定着化してほしいという思いであります。ちなみに先日、訪問した老舗の名古屋ロータリークラブでは90%以上の方がネクタイを着用されてみえましたがそれが仕事着だということでガバナーがノーネクタイを勧めているからノーネクタイにしてくるということではなかったようです。

さて、1月18日から25日の間、サンディエゴで開催されたガバナー協議会という研修会に参加して参りました。RI会長ジョン・ケニー氏は「ロータリーの未来はあなたの手の中に」をテーマに掲げておりますが、私たちにとっては「日本のロータリーの未来はあなたの方の手の中に」という意味であると思っています。その強調事項の中でも特に青少年分野について力を入れていきたいと私は思っています。会員増強にしてもできるだけ若い人を入れて頂くことでロータリーが永遠に続く糧になるかと思えます。

世界の厳しい経済情勢の中で是非、配慮してもらいたい内容として、RIより旅費の請求できるのは各理事1名につき1名分としてほしいという話がありました。通訳の費用はRIでもつので理事の方は自腹で参加して下さいということでした。背景として年次寄付が国際投信で運用されていたが、リーマンショックにより評価額が激減したということです。

RIの協調事項として従来から提唱されている「水保全」「保健・飢餓救済」「識字率向上」は

今後も世界のために良いことをしようという動きの中で永続的に取り上げられていく項目と思います。特に「識字率向上」とはいわゆる「教育」です。世界中で教育をしっかりできるようにサポートしていかないと「世界平和」は実現できないということです。教育を通じて職業を生まれ、国を発展させる意味で「識字率向上」はとても重要な項目です。

私はこれに伴い、ミニ・サブテーマとしてロータリアンの「識IT率の向上」を提唱しました。近年のIT技術の波は私たちの想像をはるかに超えたテンポで急速に拡大しており、ロータリアンも常に社会の先端を担う立場であるという気持ちから、IT認識向上にも積極的に取り組んで頂きたいと思います。その第1弾として、ご案内のとおり、ガバナー月信の配布を今年度はインターネットを通じて行っております。これに伴い、印刷費用の削減にもつながり、皆さんから年間3,000円ずつ頂いていた費用も2,000円以下でできるようになります。パソコンで分からないことは人に聞いて頂くことが最も早いです。これを機会にお子様やお孫様と十分、コミュニケーションを取って頂くのも良いし、若返りにもつながります。

3日目にプログラムの変更があり、ビル・ゲイツ氏が登場し、「ポリオプラス」への参加を表明しました。彼は、世界の組織の中で200ヶ国を超える122万人の会員に支えられるというロータリーほど力のあるボランティア団体はない。現在、ポリオが残っているのは「インド」「パキスタン」「アフガニスタン」「ナイジェリア」の4ヶ国です。皆さんから毎年1,000円ずつ集めて3年で1億ドルのマッチングをしていますが、彼は1億5千500万ドルを拠出すると表明しました。このことは世界中に配信され、現地のメディアでも大きく取り上げられましたが、日本のメディアではこういうロータリーの活動に全くと言っていいほど無関心でした。ロータリーも広報活動に力を入れ出したのもこういうことが背景にあると思います。

「ロータリー独特の職業奉仕の取り組みを強調する」という項目があります。ロータリーメンバーの皆さんが職業を通じて社会に奉仕すること。言葉にすれば一行足らずですが、非常に深い意味を持っております。職業を通じて社会に奉仕するためには、まず自分の職業に誇りを持って頂くことが大切です。その上で、職業人としての模範を示すことにより、職業倫理の高い水準を維持できるものであると考えます。

ロータリーの中で親睦活動は大変、重要な意味合いがあり、まさにロータリーの原点であります。また、退会する会員を少しでも減らすために例会をもっと楽しいものにしていく必要があります。先日、中部経済新聞の取材を受けこんなことを申し上げました。将来を担う若者が今、内向きになっているのが一番、心配であること。もっと世界に出て行って武者修行して強い人になってほしい。そのためにも、「もっと外に出る」ということでもあります。

最後にロータリーのリーダーシップについてお話します。言うまでもなく、皆さんは会社に戻れば、その中のトップリーダーであります。そういう皆さんが並列的に集まるこのロータリーの中のリーダーシップとはどういうものかということです。上から下に「おい、俺について来い!」と言って頭ごなしに指導するのがロータリーのリーダーシップではありません。「Horizontal Leadership」と言われるものがロータリーで発揮されるリーダーシップであります。皆さんを並列的に考えて、皆さんがリーダーで皆さんに仕事をしてもらうことが大切です。たとえば言うところ日本の新幹線のようなものです。蒸気機関車やディーゼル車とは異なり、新幹線は16両の各車両にすべてモーターが付いていてそれが機能して初めて350kmの速度が出るものです。サンディエゴの会合では世界各国の人々に新幹線のこのことが引き合いに出されていました。今後、いつかガバナーや地区幹事の役割がこの碧南・高浜にまわってきた時は是非、このことを想起して頂ければ幸いです。今日は素晴らしい会場で大変、多くの会員の皆さんにご清聴頂き、ありがとうございました。あらためて感謝申し上げます。

【謝辞】碧南RC 鈴木並生 会長

本日は大澤ガバナー、岩瀬地区幹事様、碧南・高浜両クラブの公式訪問にお越し頂きありがとうございました。例会前の会長・幹事懇談会、そしてこの例会のお話は我々会員にとって大変、勉強になりました。特に会長・幹事懇談会ではガバナーからの厳しいご指摘があるかと大変、緊張しましたが、暖かいお心遣いにより、大変なごやかな懇談会になりましたことを感謝申し上げます。



碧南RC鈴木並生 会長

そんな中でもさりげなくソフトにご指摘を頂いたこともありますのでそれぞれのクラブに帰りまして会員の皆さんにご報告していきたいと思えます。公式訪問もまだ3分の2ほど残っているようですが、インフルエンザ等、健康にご留意され、無事、終わられることをご祈念申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

次回例会案内

平成21年9月23日（水）法定休日のため休会

平成21年9月30日（水）クラブフォーラム 青少年活動の助成金贈呈

碧南市スポーツ少年団

碧南市スカウト育成連絡協議会